	プラスチックダンボール				紙ダンボール	プラスチックコンテナ
	 プラダンケース A式	 プラダンケース B式	 プラダンケース C式	 プラダンケース S式	 紙ダンボール	 プラボックス
特長	一般的な形状で使いやすい。ダンボールの代替としても最適。底組箱形状など、様々なタイプがある	収納物の出し入れが楽。A式より底面の強度がある。蓋は一体・分離の両方がある	収納物の出し入れが楽。A式より底面と蓋の強度がある	常用する場合に最適。内装材や各種オプションの取付が可能	紙製のため、劣る。水に濡れただけでもろくなってしまう	オーダーメイド品は費用がかかるため、規定品を利用するか、大量生産で対応する必要がある
強度	○ 優れている	○ A式より底面の強度があり、底抜けの心配がない	○ 蓋・両面共に強度があり、B式よりも優れている	◎ C式よりも強度にすぐれており、基本形状の中では最高の強度を誇る	△ 紙製のため、強度に劣る。水に濡れただけでもろくなってしまうので、注意が必要	◎ 耐加重性や耐久性に優れており、重量物も収納可能
収納性	◎ 折りたたみ可能。省スペース化を図ることができ、収納も簡単	○ 折りたたみタイプであれば、簡単に収納することができる	○ 積み重ねて収納する事が出来る	○ コーナー部材が付いているので、荷崩れせずに積み重ねることができる	◎ 折りたたみ可能。省スペース化を図ることができ、収納も簡単	○ 折りたたみタイプであれば、簡単に収納することができる
再利用の可否	◎ 繰り返し利用することができる				× 使い捨てが前提	◎ 繰り返し利用することができる
印刷やテープ類取付の可否	◎ 印刷はもちろん、マジックテープ等の取付も可能				△ 印刷可能。通常マジックテープ等は取付ないため、ふたをする際テープで貼る手間がかかる	○ 印刷可能。その他マジックテープ取付加工なども可能
生産ロット	◎ 希望サイズでの小ロット生産が可能				○ 1枚から生産可能	△ 1ケースから販売可能。オーダーメイド品の場合、1000ケース程度が最小ロットになる
値段 箱の値段	○ 部品点数・加工工数が少ないため、リーズナブル	○ A式よりもプラダンの使用量が多い為、やや高価	○ B式よりも蓋の強度を持たせている為、やや高価	△ フレーム・コーナーなどの部品点数及び加工工数が増える為、C式より高価	◎ 安価	○ 規格品は大量生産のため安い（オーダーメイド品は型代が高く、小・中ロットでは非現実的）
値段 型代	4万円～	4万円～	4万円～	4万円～	なし	1,000万円～
	安い ←→ 高い					
	 プラダンケース A式	 プラダンケース B式	 プラダンケース C式	 プラダンケース S式	 紙ダンボール	 プラボックス